

(3) 防災訓練について

【1】令和7年度犬山市総合防災訓練の結果報告

日 時

令和7年11月9日（日） 9:00～12:00

開催場所

羽黒小学校（羽黒字前川原67）

参加人数

575名

参加者 292名（羽黒小学校区住民）

協力団体 194名（ブース出展企業、羽黒小学校区コミュニティ推進協議会、消防団、名古屋経済大学、あま市）

観覧者 22名

市役所 67名

成 果

羽黒小学校区コミュニティ推進協議会及び市職員を対象に、事前訓練を実施したことにより、当日の避難所運営訓練や資機材の取扱い訓練を滞りなく行うことができた。これにより、コミュニティや参加住民に実災害時は自分たちが中心となって避難所運営を行うという認識の共有を図れた。

また、あま市と連携のもと、広域避難訓練を実施し、受入手順の確認や資機材の取り扱い訓練を行った。



【2】令和8年度犬山市総合防災訓練の計画案について

日 時

令和8年11月8日（日） 午前中

開催場所

東小学校（羽黒安戸西1丁目1）

対 象

東小学校区住民

内 容（予定）

- ①自主防災組織の活性化
- ②避難所運営委員会の設置の足がかりとなる取り組み
- ③防災知識の啓発

※東コミュニティ推進協議会を中心とした避難所運営訓練。

方針・目的

- 災害時におけるコミュニティ及び自主防災組織の役割を再確認することで、それぞれの組織の活性化を図る。
- 学校区を対象とした事業実施により地域を越えた防災活動の定着を目指す。
- 各企業・団体の協力による啓発ブースの出展で、防災に関する普及啓発を行う。

【3】令和7年度 土砂災害に強い地域づくり活動の結果報告

日 時

令和7年6月8日（日） 9:30～11:30

開催地区

倉曾洞地区

参加人数

81名

参加者 51名（倉曾洞地区住民）

協力団体 9名（エナジーサポート株式会社、愛知県）

観覧者 11名（市議会議員、県議会議員、あいち防災リーダー会犬山）

市役所 10名

※メディア（中京テレビ）

成 果

今回の訓練では、住民一人ひとりが自分の状況に合わせたハザードマップの作成に取り組んだ。

同じ地区内であっても、住んでいる場所や世帯状況によって避難のタイミングや逃げ先が変わってくるため、各々の「マイ・ハザードマップ」を完成させることで、有事の際の的確な避難行動に繋がるとともに、防災意識の向上を図ることができた。



【4】土砂災害に強い地域づくり活動の計画案について

日 時

令和8年6月14日（日） 午前中

対 象

入鹿地区

訓練内容

土砂災害による緊急避難を想定した避難訓練

方針・概要

入鹿地区においては、土砂災害の危険のある区域が多く、災害時には孤立する可能性があるため、今回の訓練では対象地区住民一人ひとりの避難先及び避難方法を再確認し、緊急時の「いのちを守る行動」につながる適切な避難行動の普及啓発を行うことを目的とする。



参考：過去の実績

H28年度	H29年度	H30年度 (総合訓練同時開催)	R1年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
栗栖地区	入鹿地区	内田地区	倉曾洞地区	入鹿地区	栗栖地区	今井地区	倉曾洞地区

【5】令和7年度福祉避難所開設訓練（職員訓練）の結果報告

日 時

令和7年10月30日（木） 14:00～16:00

開催場所

社会福祉法人ひかり学園（犬山市大字前原字橋爪山123）

参加者

・市長	・防災交通課	3名	・保険年金課	2名
・防災監	・福祉課	2名	・子ども未来課	2名
・健康福祉部長	・高齢者支援課	2名	・子育て支援課	2名
・子ども・子育て監	・障害者支援課	4名	・ひかり学園	4名
	・健康推進課	2名		

計27名

成 果

今回の訓練では、障害者特性に応じた情報収集や対応を訓練するとともに、福祉避難所開設時の一連の業務を確認をし、問題点や課題を整理した。

災害対策本部内及び関係機関間の連携では、情報の整理や伝達方法の課題が明らかになった。ほかにも、避難者のトリアージや、福祉避難所で対応する人員の問題、必要な資機材などについても今後検討が必要である。



【6】ペット同室避難 避難所運用訓練の結果報告

日 時

令和8年1月27日（火） 午後2:00～午後4:00

開催場所

楽田ふれあいセンター（犬山市外屋敷59-1）

参加人数

参加者 15名（※犬8匹、猫3匹）

協力団体 8名（楽田地区コミュニティ推進協議会、犬山動物総合医療センター、
あいち防災リーダー会犬山、株式会社興栄コンサルタント、NPO法人にこっと等）

市役所 15名（避難所担当職員、防災交通課、情報政策課）

見学者 6名（他自治体職員等）

計44名

成 果

ペット同室避難が可能な楽田ふれあいセンターで、実際にペットを同行し、ペット同室避難所での避難生活で起こりうる問題や課題について確認した。

また、飼い主向けに犬山動物総合医療センターの獣医師の先生からペット防災についての講話を行い、飼い主の防災意識の向上を図った。振り返りでは、訓練の感想や課題を参加者全員で共有した。

・ペットによって、安心していたり、落ち着かなかったり、様々な状況を把握することが大変

【避難所担当】

・動物病院の先生もみえて環境がよかったが、災害時はこのような運営は難しいのではと感じた

【避難所運営補助】

・避難所持ち込み品を準備するだけでも、かなり時間がかかった。服を着せ、リードをつけ、キャリーに入れることもかなりの時間がかかった。日頃の準備がとても大切だと感じた。【避難者】



【7】令和7年度災害ボランティアセンター開設訓練の結果報告

日 時

令和7年8月22日（金） 18:00～20:00

開催場所

南部公民館（犬山市羽黒摺墨11番地）

参加者

市及び関係団体 計61名

成 果

今回の訓練では、災害ボランティアセンター開設後、ボランティアの受け入れから活動開始までに係る運営の流れを確認し、問題点や課題を整理した。

また、以前の訓練での課題である受付作業時の混雑を改善すべく、クラウドサービス（kintone）を活用し、改善を図った。

ほかにも、導線の問題、ニーズの把握、必要最低限の資機材の準備などについても今後検討が必要である。

